

| 試験科目名 | 受験番号 |
|-------|------|
| 小論文 | |

1枚のうち1

2022年11月に、日本政府により「スタートアップ育成5か年計画」が策定され、ベンチャー企業への投資額をこの時点での10倍以上の10兆円規模に拡大し、ユニコーン企業*¹を100社創出するという目標が掲げられた。イノベーションを具現化して新しいビジネスモデルや市場を創り出したり、ニッチ市場に新たな価値を提供しているベンチャー企業が多く活躍しているが、起業後に短期間で廃業する企業も少なくない。例えば、U.S. Bureau of Labor Statisticsによる1994年から2015年までの統計データから、起業して1年で22%、3年で33%、5年で47%、10年で64%が廃業していることが示されている*²。

ベンチャー企業を短期間で廃業に追い込まれることなく、成長させるにはどうすればよいと考えられるか、あなたの専門分野に関連した産業分野を想定して、技術経営の観点(①人材・組織、②ファイナンス、③戦略・マーケティング、④知財)から800字以上1000字以内で論じなさい。

*¹ 企業評価額が10億ドル以上で設立10年以内の未上場ベンチャー企業。2022年10月時点におけるユニコーン企業数は、米国で646社、中国で172社、日本で12社であった。2023年7月時点で企業評価額が500億ドル以上のユニコーン企業にはByteDance(中国:TikTokなどの動画共有サービスの運営)、SpaceX(米国:ロケット打ち上げや衛星インターネットアクセスの運営)、SHEIN(中国:オンラインでのファストファッション販売)、Stripe(米国:モバイル決済の運営)がある。

*² U.S. Bureau of Labor Statistics, Business Employment Dynamics, Entrepreneurship and the U.S. Economy, Chart 3. Survival rates of establishments
<https://www.bls.gov/bdm/entrepreneurship/entrepreneurship.htm>